ninoyu satoshi
発行所:自由民主党京都府参議院選挙区第三支部
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2
ハウスドゥ四条ビル601
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310
発行人:二ノ湯 智
国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館921号室
TEL.03-6550-0921 FAX.03-6551-0921

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。 題字:栢木寛照

えとす
平成27年 No.272 1月号

京都の智恵を日本に活かす。
二ノ湯智ホームページ http://www.ninoyusatoshi.com

安倍政権懸案解決が可能
先ずアベノミクスの地方への浸透

注目される統一選挙の結果

昨年12月の衆議院総選挙で、自民、公明の両党で合計326議席を獲得した。衆議院では3分の2以上の議席占有率となり、極めて安定した第3次安倍内閣である。長い懸案であった問題にも着手することが可能となった。集団的自衛権、さらには憲法改正など歴代自民党政権が、重要と認識していながら、政争となることを恐れ、避けてきた問題である。しかし、懸案に着手する前に、当面は、デフレ脱却、経済再生が、安倍内閣の重要課題である。14日、平成27年度予算案を閣議決定した。予算の中身は「地方創生」の実現が大きな柱である。今年こそ、アベノミクス効果が少しでも地方に浸透し、地方が、景気回復を実感出来るようにしなければならない。もし、出来なければ地方の失望を招き、4月の統一地方選挙で反発を招く恐れがある。秋の総裁選挙は、今のところ、党内にライバルなしの感じであるが、その鍵は景気回復と統一選挙の結果にかかっている。

年頭の記者会見に臨む安倍首相

恒心

★昨年、日本創成会議が、このまま若い女性の東京移住が進めば、2040年には、896自治体が消滅する可能性があるとの調査結果を発表した。該当する自治体はもとより、政府も人口減少問題を深刻に考え始めた。★少子化を防ぎ、人口維持を図ることは、国政の最大のテーマの一つ。各自治体も懸命の努力をしているが、そう簡単に成果が上がるものではない。そんな時、京都の笠置町では昨年の出生数がゼロになった。事態は深刻である。★京北町といえば、大都市・京都の近郊で、市内中心部から車で約40分。平成17年に合併して、今は京都市である。自然豊かで、環境もいい。子育てには非常に適していると思うが、京北町で昨年生まれた子どもの数は、18人とのこと。★田舎なら、土地も広く、子どもの遊ぶ場所には事欠かない。しかも、日中、子どもを預ける保育園、幼稚園に入るのも、都会ほど難しくはない。子育て環境を整備すれば子どもが増えるのか。決してそれが決定打にはならない。★千代田区麹町といえば、東京では超一等地である。一軒家がなく、マンションばかりで、家賃はべらぼうに高い。ところが、昨年、麹町小学校の新入生は3クラス。小学生の親は、30代。若い金持ちが、東京にいかに多いかという証左である。★地方への人口転出を図るため、本社、工場を東京から地方に移転させた企業への税の優遇措置を暮の「与党税制調査会」で決めたが、どこまで効果が上がるか。そんな矢先、東京都は、オリンピックで使用した選手村を住宅に転用、さらにその中に、超高層マンションを建て、6000戸の住宅を供給すると発表した。東京への人口集中を阻止することは難しい問題である。

京都中央郵便局年賀郵便元旦配達出発式

二ノ湯副大臣、激励の挨拶

近年、情報通信手段の進展によって、携帯電話や電子メール等、人と人とをつなぐ手段が多様化し、従来からの手書きである年賀状は、年々少なくなってきている。それでも、新年早々、お互いの無事を確認したり、近況を知らせる手段としての年賀状の手紙文化はそれなりの価値がある。毎年貰っている人から年賀状が来なくなると、どうしたのかと心配になったりもする。年賀状はかってほどの販売枚数には至らないが、それでも、日本郵便㈱は、全国の郵便局が年末まで、必死に努力して、今年も33億枚の年賀状を売りさばくことが出来た。心を込めた年賀状を元旦に確実に届けることは、郵便局にとって非常に重要な仕事である。京都中央郵便局は、毎年元旦に、年賀状出発式を行っている。二ノ湯副大臣は、地元選出の故を持って、京都中央郵便局の年賀郵便出発式に出席した。出発式は、底冷えのする中、早朝7時40分に開かれた。二ノ湯副大臣の挨拶の後、くす玉が割られ、それを合図に郵便配達人が一斉に、街中に出かけていった。中央郵便局の配達区域は、下京区、南区の両行政区。元旦の年賀状配達枚数は324万2千通。153人の郵便配達人が、午前中にほぼ全ての年賀状を配り終えた。慣れた仕事とはいえ、常日頃から雨にも負けず、多くの郵便物を確実に各家庭に配達している。日本の郵便の迅速性、正確性はたいしたものである。日本の郵便システムを外国が取り入れたいと考えるのも十分うなずける。

くす玉割りをする二ノ湯副大臣

二ノ湯議員、副大臣に再任
大臣を支え地方再生に全力

12月12日、衆議院総選挙が行われた。結果は自民、公明の圧倒的勝利となり、12月24日、第3次安倍内閣がスタートした。二ノ湯参議院議員は、12月25日、引き続き総務副大臣を務めることになり、皇居での認証式に臨み、天皇陛下から、官記を受け取った。14日、27年度予算案が閣議決定された。地方財政は前年度と比較して、消費税、法人税の増収が見込まれ、一般財源と、「まち・ひと・しごと創生事業費」が増え、不評であった臨時財政対策債が減少して、地方団体からは評価されている。それでも、高齢化、少子化対策等の福祉関係の経費が膨らみ、地方団体の財政が、厳しい状況には変わりがない。今年こそ、安倍内閣の最重要課題である地方創生を目に見える形にしなければならない。地方自治に責任を持つ総務省の役割は大きい。二ノ湯総務副大臣は、地方の悩みや苦しみ、地方団体からの創生の提案に対し、謙虚に耳を傾け、職責を果たしていく覚悟である。

皇居での認証式を終えた
第3次安倍内閣の副大臣たち（首相官邸）

新年のご挨拶
統一選勝利と地方再生に全力

新年も早や1ヶ月近くが経過いたしました。皆様には、お健やかに新しい年をお迎えになられたことと存じます。旧年中は大変お世話になりました。本年もなにとぞよろしくお願い申し上げます。昨年末に、衆議院総選挙が行われました。その節には、1区から6区までの自民党候補に暖かいご支援を賜りまして厚く御礼を申し上げます。お陰様で、2区を除いて、自民党の議員が議席を獲得することが出来ました。今年は、地方統一選挙の年です。自民党京都府連では、第1次、第2次統一選挙での公認、推薦候補をほぼ決定いたしました。京都府政、京都市政において、引き続き自民党が主導権を確保するためには、一つでも多くの議席を確保しなければなりません。府下各地で戦う自民党候補に力強いご支援をお願い申し上げます。私は昨年暮、再度総務副大臣を拝命致しました。東京での拘束時間が多く、頻繁に京都に帰ることが出来ませんが、可能な限り時間を作って、仲間の応援の為に汗をかくと共に、副大臣として地方の一層の発展に全力を尽くし、責任を果たしてまいる覚悟です。皆様のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。結びに、皆様のご健勝、ご多幸を心よりお祈りし申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成27年1月吉日

総務副大臣
参議院議員　**二之湯　智**

二ノ湯氏京都市消防出初式に出席 担当副大臣として激励挨拶

京都市消防出初式が1月11日、左京区岡崎で開催された。出初式には、消防職員、団員1350名、自主防火、防災活動に尽力している多くのボランティアが参加して盛大に行われた。二ノ湯副大臣は、消防担当であるため、京都市消防出初式に出席した。市会議長に在職中、2度激励挨拶をした経験があるが、政府側としての挨拶は初めてである。京都市の出初式に先立って、1月6日、東京都の出初式にも二ノ湯副大臣は出席し、高市総務大臣の祝辞を代読した。東京消防庁は職員1万8千、予算2千5百億円、ヘリコプター7機を所有している大世帯。東京消防庁の規模には、京都市消防局は太刀打ちすることができないが、消防職員の士気、レベルの高さは東京に決して引けはとっていない。京都市出初式は、場所が非常によく、雰囲気も厳粛で、東京の出初式よりも内容において上の感じがする。京都市消防局は、京都が国宝、重要文化財の宝庫であり、それだけに火災の予防には特に力をいれている。さらに、119番通報を受けてからの対応が、全国の中でも極めて早い。京都の誇りでもある。全国から、多くの消防関係者が京都市消防局に視察に来るが、当然である。高齢化が進む中、地域の安全、安心は地方自治体の最重要課題である。消防職、消防団、そして地域の自主防火、防災会の役割は、益々大きくなってくる。その中核となる、京都市消防局の指導力に期待したい。

消防庁長官、山田知事と
消防部隊を観閲する二ノ湯副大臣

ゴルフ場利用税存続決定 すさまじい廃止派の攻勢

ゴルフ場利用税(507億円)は、地方税で、3割を都道府県、7割を市町村に交付し、特に財源に乏しく山林原野の多い市町村の貴重な財源となっているので、是非とも存続するべきだと地方自治体を応援する議員。それに対して、今や、ゴルフは国民の1割が広く親しむ国民的なスポーツであり、スポーツの中で、ただ一つゴルフのみ、施設の利用に伴い課税されている。2020年東京オリンピックの開催国として、ゴルフ場利用税の廃止は重要不可欠であると反論するスポーツ・ゴルフ議員連盟の面々。今年度は、廃止によって減少する地方財源を補填する方途が見つからず、存続と決まったが、双方のやり取りを聞いていると、存続派もしっかりとした理論武装をしないと、ゴルフ場利用税を継続することは困難な感じである。

総務副大臣の公務の一コマ

平成27年度総務省
仕事始め式

1月6日総務省

自民党税制調査会
正副・顧問・幹事会

12月29日自民党本部

第4回児童虐待対策に関する
副大臣会合

12月26日首相官邸

全国行政書士連合会、
行政書士政治連盟賀詞交歓会

1月16日ANAインターコンチネンタルホテル

総務大臣・地方六団体会合

1月8日総務省

平成26年度総務省職員
永年勤続表彰式典

1月6日総務省

新年冒頭の長岡京市長選挙
自公推薦富岡氏及ばず

今年4月の統一地方選挙の前哨戦である長岡京市長選挙は新年早々の1月4日に告示された。自民、公明が推薦する前議長の富岡浩史氏と、無所属の前府会議員との事実上の一騎打ちの選挙となった。長岡京市は市制施行以来、共産党府政下の時でも、保守中道市政が継続しており、自民党としては、絶対に負けられない選挙であった。多くの国会議員、府会議員等も応援に駆けつけた。最終日には、谷垣自民党幹事長も街頭に出て、支援を訴えた。富岡氏は、昨年の総選挙での自公の勢いを駆って、有利な戦いをすると思われたが、無所属の前府会議員に3500票近い差をつけられ、残念な結果となってしまった。有権者が地方選挙と、国政選挙では異なった判断をすることを、改めて思い知らされた長岡京市長選挙であった。

出陣式で激励の挨拶をする
二ノ湯参議院議員

城陽市議会議員選挙
自民党新たに3名の公認、推薦候補

自民党に所属していた3名の現職城陽市議会議員が年末に除名処分を受けた。城陽支部では、新たに執行部を選出し、新しいスタートを切った。新生城陽支部では、4月26日に執行される市議会議員選挙に、3名の公認、推薦候補の擁立を決め、京都府連に申請していた。府連は、去る1月6日、支部から上申があった3名を公認、推薦候補として承認し、10日に開催された府連の新春懇親会で紹介した。除名された議員と新しい候補者との激しい戦いとなる。

・3名の公認・推薦候補者

城陽市議会議員選挙

選挙区	候補者氏名	年齢	区分
城陽市	一瀬 裕子	52	新公
	谷 直樹	61	新公
	小松原一哉	54	新推

「新政経懇話会」入会のお願い

「新政経懇話会」では、機関紙「えとす」の発行をはじめ、二ノ湯さとしの政治活動をご支援いただける会員を募集しております。

是非、二ノ湯さとしの政治理念と主張にご賛同いただき、ご入会下さいますようお願い申し上げます。

新政経懇話会　年会費　1口1万円

入会申込・お問い合わせ先

二ノ湯さとし事務所　☎075-315-2228

身辺雑記

一、30日まで仕事で東京に居た。31日は、夕方、秘書官と錦市場を歩き、八坂神社でお詣り、10時過ぎから、比叡山に行った。帰って、朝起き会、中央郵便局での年賀状出発式、その後、伏見稲荷、北野天満宮と眠る時間がなかった。

一、元旦、3時過ぎに宇治の母親の家に向かう頃、雪が降っていた。凍結の恐れがあるので、早めに帰ったが、1号線宇治川に架かる橋で車が大渋滞。橋の上で、約2時間足止めを食ってしまった。一時は、車を放って置こうかと思った。

一、小沢一郎氏率いる「生活の党」は、先の衆議院選挙で惨敗。政党要件を満たすことが出来ず、これで消滅かと思われた。そこに、天皇に手紙を手渡し、問題になった山本太郎氏が加わり「生活の党と山本太郎となかまたち」に変更した。政策なき野合でなければよいが。

一、フランスでのイスラム過激派によるテロ事件は、平和な日本では想像出来ないような事件である。経済格差が広がり、期待と実績が一致しない時代になり、不満を持つ人が多くなる。今後、この種の事件が頻発するかも知れない。

一、京都市会議員に挑戦することになった秘書の森田君と、暇を見つけては後援会の方々のお宅を訪問している。久しぶりにお会いして、激励の言葉をかけていただくと嬉しい。政治家は皆様によって、支えられていることを痛感している。

一、地図を片手に歩くのは億劫ではあるが、反面効用もある。辛い、しんどい、面倒くさいと思わず、歩くことは健康にも良い、人にも出会う、町並みの変化にも気がつく。逆転の発想で、いい方に考えれば、楽しい後援会活動である。

「えとす」購読のお願い

月刊誌「えとす」は
毎月一回の発行です。

毎月ご希望の方は、郵便口座振替にて、
ぜひお申し込み下さい

年間購読料　1200円

郵便振替口座 01000-4-62360
口座名：新政経懇話会

── お問い合わせ先 ──
二ノ湯さとし事務所
電話　075-315-2228

ホームページを開設いたしました
http://www.ninoyusatoshi.com

「日本真生塾」　例会のお知らせ

第53回　2月23日(月) 18時30分～21時
第54回　3月30日(月) 18時30分～21時
第55回　4月30日(月) 18時30分～21時

テーマ：日本の抱える諸問題について
講師：岡本幸治 塾長
場所：龍谷大学アバンティ響都ホール
（京都駅八条口前アバンティ9F）

＜お問い合わせは事務局へ＞（担当：奥井寛之）
日本真生塾事務局（二之湯事務所内）TEL：075-351-2228／FAX：075-315-2310
詳しくはFacebookページをご覧ください。https://www.facebook.com/nipponshinsei
日本真生塾　塾長　岡本幸治